

北区自治協議会（第5期）を振り返って【部会版】

（1）部会について

（ア）地域・環境部会

○ 福島潟のラムサール条約登録に向けた取り組み

佐潟や北区内の湿地の視察研修やビュー福島潟の指定管理者及び大熊名誉館長、さらに新潟県地域振興局との懇談による勉強会を実施し、市長への提言書を取りまとめました。

○ 自治協議会提案事業内容の検討と実施

- ・夏休み子ども交流事業（平成27年度）
- ・北区夏休みこども公共施設利用体験事業（平成28年度）

（イ）産業振興部会

○ 遊休農地を活用した農業振興

葉タバコの廃作地を活用した特産品「シルクスイート」の生産拡大について、検討し、部会から2名が北区特産物研究協議会WGメンバーとして参加しました。同協議会主催では、オリジナル名称を公募し、北区産さつまいも名称選考会の委員を部会から選出しました。名称に決定した「しるきーも」は、作付面積が拡大され、北区内の多くの菓子屋で、「しるきーも」を使った美味しいスイーツが販売されるようになりました。

○ 自治協議会提案事業内容の検討と実施

北区の自然景勝地や歴史スポットのほかに、北区産の農産物について取り上げ、北区の食の魅力等を動画により紹介しました。

- ・北区プロモーション事業・「食」編動画配信（平成27年度）
- ・北区プロモーションPR映像を7本制作（1本3～7分間程度）

○ 人口減少対策

子育て中の方々が住みやすいと思うまちづくりに向けて、子育てサークルとの意見交換やアンケートを実施し、要望などを取りまとめ、全体会に報告しました。

（ウ）教育・文化部会

○ 自治協議会提案事業内容の検討と実施

- ・平成27年度 食育講演会、平成28年度 命の教育講演会

○ 第4期に提出した「北区郷土博物館の充実に関する意見書」の検証

第4期で市長に提出した「北区郷土博物館の充実に関する意見書」に基づく取り組み内容を確認するため、展示内容等のリニューアルが行われている北区郷土博物館と関連施設について、現地確認を行いました。

(エ) 福祉・安心部会

○ 災害時の避難誘導について

海水浴場・海辺の森など市内外から多くの人が集まる場所に訪れた人が、災害時に速やかに安全な場所に避難できるような方策について検討を重ね、自治協議会提案事業につなげることができました。

○ 認知症対策について

いかに効果的に行政などの情報を市民に伝えるか、また、認知症の人や介護する家族の負担を軽減する対策で不足しているものがないかを検討し、市長への提言書を取りまとめました。

○ がん検診などの受診率向上について

北区内の各種検診データなどを検証し、意識啓発、PRの見直し、検診場所などについて具体策を検討し、市長への提言書を取りまとめました。

○ 自治協提案事業内容の検討と実施

- ・地域防災力向上事業（平成28年度）

(2) 提案事業について

(ア) 平成27年度提案事業

○ 夏休み子ども交流事業

夏休み期間中における区内の公共施設の事業等を通じ、北区内の子どもたち（小中学生）の交流を図ることを目的としました。その移動手段として、北区内の小学校周辺と葛塚地区の公共施設を結ぶバスを運行しました（一部地域を除く）。

- ・運行期間：平成27年7月24日～8月22日うちの19日間
- ・マイクロバス（27人乗り） 2ルート運行
- ・のべ利用者数：約600人

○ 北区プロモーション事業・「食」編

北区の自然景勝地や歴史スポット、北区産の農産物について取り上げ、北区の食の魅力等を動画により紹介しました。北区の「食」の魅力を紹介する内容の動画を制作し、新潟市ホームページ新潟シティチャンネル（YouTube）で公開しています。また、北区役所新館1階ロビーの広報用モニターやケーブルテレビ（NCVコミュニティチャンネル）でも放映されており、インターネット配信だけでなく、他の媒体でも北区の魅力をもPRすることができました。

- ・北区プロモーションPR映像を7本制作（1本3～7分間程度）
- ・制作 国際映像メディア専門学校（中央区）に協力を依頼

新潟市北区特産物リポート 農産物 Part1（YouTube：6分37秒）

新潟市北区特産物リポート 農産物 Part2（YouTube：5分25秒）

タベテ ミテ キタク【学生企画作品】（YouTube：7分7秒）

阿賀野川河口のしじみ漁とサケ漁（YouTube：6分31秒）

福島潟 春から夏の花めぐり（YouTube：3分54秒）

桜咲く～北区 春のたより～（YouTube：4分36秒）

ひょうたん池のオオモノサシトンボ ―希少なトンボを求めて― (YouTube : 5分7秒)

○ 「食育」の推進事業

未来を担う子供たちの食の環境を整え、健康な心と体づくりを進め、活力あるまちづくりを目指すため、大人からも「食」に関する理解を深めてもらい、小学校などで実施されている「食育」事業の支援を行うため、北区小中学校PTA連合会と共催で講演会を開催しました。

「食育講演会」(平成27年11月21日)

- ・演題「食事を変えたら「いじめ」、「非行」、「暴力」がなくなった長野県真田町の軌跡」
- ・講師 大塚 貢 氏
- ・会場 北区文化会館
- ・参加者 約300人

(イ) 平成28年度提案事業について

○ 北区夏休み子ども公共施設利用体験事業

子どもたちが夏休み期間中の区内公共施設の利用を通して、区内小中学生の自己啓発や地域への関心を高めることを目的に、その移動手段として、公共交通手段が不足する地域と公共施設を結ぶ無料バスを運行しました。

- ・運行期間 平成28年7月26日～8月24日うちの16日間
- ・マイクロバス(27人乗り) 2ルート運行
- ・のべ利用者数 415人

○ 「命」の教育事業

日々の忙しさにより子どもも大人も心の余裕がなくなってきており、人類愛・家族愛を含めて、心の平和など広い視点で「命の尊さ」を学び、虐待やいじめ防止を目指すため、「命の教育」の講演会を北区小中学校PTA連合会と共催で開催しました。

「命の教育」講演会(平成28年11月12日)

- ・演題「子どもの人間力を伸ばす～その具体的方法とは」
- ・講師 親野 智可等 氏
- ・会場 北区文化会館
- ・参加者 約350人

○ 地域防災力向上事業(海辺の森等津波避難対策)

津波浸水想定区域周辺の集客施設を抱える地域において、利用者が速やかに避難できるように、避難場所や避難経路をわかりやすく伝える方策について、ワークショップを行い検討し、避難誘導看板などを設置しました。

<ワークショップの開催>

- ・日時:平成28年5月24日
- ・参加者:16名

- ・参加者：南浜地区コミュニティ協議会、海辺の森指定管理者、島見浜茶屋組合

<避難誘導看板の設置など>

- ・ソーラーLED 照明付避難誘導看板 1 基（海辺の森キャンプ場入り口）
- ・避難誘導看板 3 基（島見浜海水浴場駐車場）
- ・誘導表示板 4 基（避難誘導路入口）
- ・避難誘導パネルの表示（海の家7施設）
- ・避難路マップの配布（海辺の森キャンプ場利用者）

<看板除幕式>

- ・日時：平成 28 年 7 月 15 日
- ・参加者 30 名
- ・参加者：南浜地区コミュニティ協議会、海辺の森指定管理者、島見浜茶屋組合